

第3回 岐阜県新型コロナウイルス感染症 教育推進協議会 議事概要

日 時	令和2年5月15日(金) 13:00~14:00
場 所	県庁4階 特別会議室
出席者	<p><委員> 15名 松川 禮子 委員、 益子 典文 委員、 小川 信也 委員、 安福 正寿 委員 早川 三根夫 委員、 名取 康夫 委員、 折戸 敏仁 委員、 七野 武稔 委員 河井 洋子 委員、 下屋 浩実 委員、 河合 直樹 委員、 浅野 健司 委員、 岡崎 和夫 委員、 村上 啓雄 委員、 竹内 治彦 委員 (浅野委員はWeb会議システムで参加)</p> <p><県> 知事、河合副知事、平木副知事、教育長(委員)、副教育長、環境生活部長、 教育次長、義務教育総括監、教育総務課長、私学振興・青少年課長 他</p>
議 題	学校再開ガイドラインについて
配布資料	<p>資料1 学校再開ガイドラインについて 資料2 学校再開ガイドラインの概要について 参考資料1 健康チェックカード 参考資料2 清掃チェック表 参考資料3 夏休み等の取扱いについて 参考資料4 新型コロナウイルス感染症対応 チェックリスト 参考資料5 児童生徒等に感染等が発生した場合の対応について 参考 学校における新型コロナウイルス感染症対応 学校再開ガイドライン</p>

議事概要

それぞれの議題について事務局から資料に基づき説明。主な意見は次のとおり。

<学校再開ガイドラインについて>

- ・ ガイドラインが詳細に示されており、これに従って対応したい。地域の実情に合わせる必要のある項目については、これを参考に各市町村で再開に向けて進めていく。
- ・ 子どもたちは3か月間休んでいるので、学習習慣や生活習慣を取り戻すために段階的に体を慣らしていくことが大切である。
- ・ 個人面談を実施するなど子どもたちの心のケアを行っていきたい。
- ・ 出席停止の期間については、症状が様々であり、学校医の判断とすることを明示した方がよい。
- ・ 特に低学年の児童が感染した場合に、子どもからの聞き取りだけでは濃厚接触者の特定は困難であり、保護者の協力が不可欠である。

- ・ 3か月間登校していないので、ドライバーの安全意識が薄れている可能性もある。交通安全について県警と連携していく。市町村においては、地元警察に学校再開日の情報を提供するなど、連携を図ってほしい。
- ・ 高校受験について、入試の日程や出題範囲の変更は今のところ検討していない。今後の学校再開の状況を見ながら、変更があった場合は速やかに伝えていく。
- ・ 部活動は、大会のみならず練習でも3密を避ける必要がある。部活動の再開に向けてコミュニケーションの取り方など、感染防止対策を検討していく必要がある。

<その他>

- ・ 中体連が中止となったが、大会成績を独自選抜の要件としている場合、中学校側の意見を聞きながら受験生の不利にならないよう配慮が必要である。
- ・ 学校休業中に実施された、オンライン授業を始めとした工夫は、子どもたちの学びの補強のための手立てとして今後も有効になる。この経験を経験で済ますのではなく財産として、将来の取組に向けて検証が必要である。
- ・ 学校再開後は、新しい生活様式に変容していく必要がある。様々なノウハウを蓄積して共有しながら関係各所が連携していきたい。